



©Shin Yoshino

**これまでの課題** 世界のトラの7割以上となる3000頭が生息するインド。トラが保護地域間を移動するためのコリドー上でのトラと人とのコンフリクト（衝突）緩和が不可欠。

## インドのゾウ生息地支援プロジェクト

### 成果

Achievement

**中央インドの各保護地域で、緊急活動プロジェクト（Rapid Action Projects）を実施しました。**

1

#### ナウエガオン-ナグジラ・トラ保護区（マハラシュトラ州）で、野生動物犯罪防止のトレーニング・ワークショップを開催

4つの地域の最前線で活躍する50人の森林局スタッフ向けに、野生動物犯罪防止トレーニング・ワークショップを実施しました。



2

#### マディヤプラデシュ州の州都、100万都市ボパール郊外のラタパニ野生動物保護区で、トラと人との衝突を監視するための地域社会に基づくプログラムを開発

トラとのコンフリクト再発防止のために、ボパール市周辺で作りに上げたボランティアネットワークがトラの動きを監視し、記録が継続中です。



3

#### インドラバチ・トラ保護区（チャティスガル州）でトラと密猟のモニターをする地域社会ベースのボランティアネットワークを確立

テロ組織ナクサラ派が潜むため、保全活動の実施とそのため資金調達が困難な地域ですが、森林局だけでなく、地域コミュニティを巻き込み監視活動を始めました。まず密猟の規制についての啓発プログラムを作成。4月末に密猟活動監視のためのトレーニング・ワークショップを1週間にわたって実施しました。



4

#### ボラムデオ野生動物保護区（チャティスガル州）に基本的装備を提供

保護区管理官からの要請に応え、8つのパトロール・キャンプに、ソーラー・ランタン、ソーラー・ファン、浄水器、さらに40人の最前線スタッフに水筒を提供しました。

**残された課題** トラと人のコンフリクトを回避することは、住民がトラとの共存を受け入れるための第一歩。その実現には、外部からの支援を受けつつ、住民自らが行動することが不可欠。各地の森林局と地域住民を助ける緊急支援プロジェクトの継続が重要。

引き続きのサポートをお願いします。



## インドのゾウ生息地 支援プロジェクト

これまでの課題

ゴム農園の拡大などにより森林の分断が進行。ゾウが森の間を移動するためのコリドー。その上に村や農地が広がって、人とゾウとの間のコンフリクト（衝突）が激化。共存がピンチに。

Achievement  
成果

### 1 ケララ州（南インド）ワヤナード県で、ゾウのコリドーを修復

ゾウのコリドー上にある荒れ果てた村跡。がれきを撤去、計20区画へ在来の樹木を植栽し、ゾウが移動するための緑のコリドーを修復しました。



苗が動物に食べられないようネットで保護しながら、村跡の植生を復元中（左）。WTI ビベック・メノンと現地を視察（右）

### 2 ケララ州（南インド）カヌル県で、ゾウと地域住民の衝突を予防するパトロール装備を森林局へ支給

アララム野生生物保護区の西側には、農園・移民村が隣接。数十頭のゾウが農園内に住み着いています。住民との衝突を予防する定期パトロールに必要な、レインコート、寝袋、帽子、トーチなどの装備が入ったザックを、80名の森林局スタッフに提供しました。



アララム野生生物保護区ウォーデン、WTI ビベック、JTEF 理事長・事務局長が壇上へ上がり、同保護区スタッフに装備が送られました。

残された課題

分断された森林の周辺で激しさを増す地域住民とゾウとの間のコンフリクト。ゾウが安全に移動するための緑地帯＝「コリドー」を守るためには、たゆまぬ努力を継続することが必要。

## 国内象牙市場閉鎖 プロジェクト

これまでの課題

「ゾウ保全のために国内象牙市場閉鎖は急務」との国際的な認識が高まって久しいが、日本政府はいまだ閉鎖に向かおうとしない。東京都も自ら設置した有識者会の提言をとりあげようとする。

Achievement  
成果

### 1 環境大臣と面談し、国内象牙市場閉鎖を要望

2024年4月10日、JTEFと米国NGOのEIAを含む世界の23団体を代表し、日本の象牙市場を閉鎖するよう求める要望書を環境大臣に手渡しました。



JTEF 理事長と事務局長が、伊藤信太郎環境大臣と環境省大臣室で面談し、要望書を提出

### 2 東京都の象牙業界に対する補助金交付について、知事へ意見書提出

2024年6月11日、象牙需要を拡大するとともに、国際象牙取引を再開するための象牙業界の活動を支援してきた東京都の補助金を即時停止するよう求める意見書を提出しました。

### 3 ワシントン条約第77回常設委員会（ジュネーブ）で、世界のNGOを代表して発言

2023年11月の会議で、合法販売の行われている象牙市場と象牙の違法取引の関係を明らかにするため、象牙押収の分析を行うこと、日本をその対象から外してはならないことを、世界の12団体を代表して発言しました。



会議で発言する JTEF 事務局長（スクリーン）

残された課題

2025年開催予定のCoP20では、日本市場の違法取引への寄与がデータに基づいて明らかにされるよう、さらに日本が市場閉鎖を決断するよう、働きかけを強めること。東京都には、まずもって時代錯誤の補助金交付を停止すること、そのうえで象牙販売禁止条例の検討を改めて求めること。

引き続きのサポートをお願いします！



©村田行

**これまでの課題** イリオモテヤマネコの交通事故は2000年代に入ってから急激に増加。2018年には過去最悪の9件の事故が発生しました。西表島の夜の交通量は年々増加傾向にあり、潜在的な交通事故リスクは年々高まり続けています。西表島の世界遺産登録に伴う観光客の増加現象が起きれば、島の自然とヤマネコにとっては脅威となります。

## 成果

Achievement

1

## 夜間パトロール活動の継続実施

2011年から実施している夜間パトロール活動を継続的に実施しています。2023年(2023年4月～2024年3月)は、ヤマネコの交通事故が多発する2つの区間(北岸道路、西部地区)で計171回実施しました。今後も継続的に実施していく予定です。



写真提供: 五十嵐源大さん

2

## ヤマネコ目撃多発地点での注意喚起活動

ヤマネコの交通事故で近年問題となっているのが、轢かれた小動物を食べるために繰り返し路上出没する「道路慣れ個体」の出現です。「道路慣れ個体」は追い返しても、繰り返し路上に出没するため、通常のパトロールでは対応しきれません。そこで、ヤマネコが何度も路上に出没する地点でLED看板やのぼりを立てて、ドライバーに対して直接注意喚起を行っています。



最近、環境省野生生物保護センター、竹富町自然観光課、パークボランティア、西表ヤマネコクラブの皆さんとも協力して注意喚起活動を実施しています。

3

## ヤマネコの目撃多発地点での除草作業

道路わきに草や灌木類が繁茂すると、ドライバーが急なヤマネコの飛び出しに気づきにくくなります。また、ヤマネコにとっても身を隠せる場所があることで、道路での滞在時間が長くなる可能性があります。そこで、事故多発地点である浦内橋～干立間での草刈りを重点的に行いました。



草刈り前(左)と草刈り後(右)の路肩

4

## ヤマネコのいるくらし授業、教員研修会実施

2023年度は上原小学校、白浜小、西表小学校で授業を実施しました。イリオモテヤマネコの生息地を歩くフィールドワーク、自動撮影カメラによる観察、フン分析体験は定番の授業プログラムになりました。竹富町教育委員会と共催している教員研修会については、大原中学校で開催しました。



西表小学校に設置した自動撮影カメラ(左)では、昨年に続きイリオモテヤマネコの撮影に成功(右)。学校周辺にもヤマネコが生息できる豊かな自然が残されていることの証拠です。

5

## 「イリオモテヤマネコの日」(4月15日)イベントへの協力

野生生物保護センター主催で行われた「子ども解説員」のイベントに協力しました。



解説員に選ばれたのは前年度「ヤマネコのいるくらし授業」を受けた上原小学校5年生の皆さん。最初は緊張したようでしたが、2回目からの解説は立派な解説員に(左)。この取り組みはNHK沖縄放送局の「おきなわHOTeye」にて放送されました(右)。

## 残された課題 2024年に確認された交通事故は、10月

10日現在ゼロですが、油断は大敵。一方、オーバーツーリズム問題では心配な出来事が。西表島の海岸9か所で、これまで禁止とされてきたキャンプ・たき火を伴うツアーを解禁する、環境省と竹富町の動きです。やまねこパトロールは、世界遺産委員会からオーバーコースを指摘され策定された「西表島観光管理計画」とも矛盾するとして、早くから警告を発してきましたが、イリオモテヤマネコやウミガメ類、アジサン類への直接的な影響のほか、山火事発生時には西表島の貴重な生態系に破滅的な影響を与えうるとして、専門家からも懸念が示されるに至っています。引き続きこの問題を注視し、必要な提言をしていきます。

引き続きのサポートをお願いします！

# 2023年度に JTJEFが行った 支援

2024年10月16日時点  
管理費を除く

|                               |            |
|-------------------------------|------------|
| ・インドのトラ生息地支援                  | ¥5,508,447 |
| ・インドのゾウ生息地支援                  | ¥6,279,453 |
| ・イリオモテヤマネコ生息地支援               | ¥6,494,711 |
| ・政策提言事業(国内象牙市場閉鎖など)<br>教育普及事業 | ¥4,957,334 |

\*JTJEFは、個人サポーターの方々からのご寄付の他、チャリティー・イベントでのご寄付、法人・団体からのご寄付、助成金で運営されています。  
\*最終的な決算(2023年11月1日～2024年10月31日)の内容は、2025年2月発行予定の「年次報告書」でご報告します。

## イベント報告

2024.1/27 online  
JTJEF 第8回オンラインイベント  
「イリオモテヤマネコ保護の『これまで』と『これから』」開催  
JTJEFの専門家アドバイザーであり2023年刊「イリオモテヤマネコ 水の島に生きる」の共著者岡村麻生氏による講演。  
参加者27名

2/11  
「第29回竹富町やまねこマラソン」に参加。ブースも出展  
年代別で理事長の戸川が3位になり、2024年も交通事故ゼロを目指して!の合言葉で走りました。



2/16-26  
JTJEF 理事長の戸川久美、事務局長坂元雅行がパートナーのWTI (Wildlife Trust of India) とトラとゾウの保護活動プロジェクトサイトを視察。



3/2  
世界野生生物の日@上野動物園  
東京動物園友の会ジュニア会員対象「野生のトラになってみよう!」JTJEFオリジナルゲームを使った環境教育イベント実施。



4/13 & 14  
アースディ東京 2024 代々木公園でブース出展  
ヒサクニヒコさんも来訪。



5.4 & 5  
GW イベントでブース出展  
@金沢動物園

JTJEFオリジナルのサイコロゲーム「ゾウ博士になってみるゾウ!」は2日間で150人以上の参加で盛り上がりました。



8/24  
「野生のゾウのこともっと知ろう」環境教育イベント実施  
よこはま動物園ズーラシアと金沢動物園との特別共同開催。

8/12  
世界ゾウの日  
上野動物園と金沢動物園で「世界ゾウの日」ナイトズーに出展。



8/28-29  
ナマステインド@代々木公園でブース出展  
募金箱だけで2万円近くのご寄付をいただきました!皆さま、ボランティアさんに大感謝!



10/19-20  
井の頭動物園での「ヤマネコ祭り」ブース出展・JTJEFオリジナル紙芝居とゲーム実施



7/27-8/31  
クラウドファンディング  
「野生のトラもゾウも、人と共に生き続けられる未来をつくりたい」実施  
766,500円のご寄付を集めました。



## JTJEFの賛同者

- 相澤登喜恵さん(動物肖像画家)
- 新井晴みさん(俳優)
- 池田卓さん(シンガーソングライター)
- 井上奈奈さん(現代アーティスト)
- 岩田好宏さん(子どもと自然学会顧問)
- 牛越峰統さん(JPSA・一般社団法人日本プロサーフィン連盟名誉顧問)
- 大森享さん(元北海道教育大学教授)
- 岡田彰布さん(阪神タイガース監督)
- 小川潔さん(東京学芸大学名誉教授)
- 加藤登紀子さん(シンガーソングライター)
- 蟹江杏さん(版画家)
- 見城美枝子さん(青森大学副学長・エッセイスト)
- 巨勢典子さん(作曲家・ピアニスト)
- 小林裕児さん(画家)
- 権藤真禎さん(元社団法人兵庫県自然保護協会理事長、元神戸市立王子動物園園長)
- 坂本美雨さん(ミュージシャン)
- 沢田研二さん(歌手)
- 瀬木貴将さん(ミュージシャン、JTJEF 野生動物親善大使)
- 田中豊美さん(動物画家)
- 田中裕子さん(俳優)
- 田畑直樹さん(公益財団法人日本動物愛護協会理事長)
- 土居利光さん(前恩賜上野動物園園長、日本パンダ保護協会会長)
- 並木美砂子さん(帝京科学大学特任教授)
- 根本美緒さん(フリーキャスター・天気予報士)
- 南ぬ風人まーちゃんうーぽーさん(三線アーティスト)
- 羽山伸一さん(日本獣医生命科学大学教授)
- ヒサクニヒコさん(漫画家)
- 福井崇人さん(アートディレクター)
- 福田豊さん(恩賜上野動物園園長)
- 藤木勇人(志いさー)さん(断家)
- 古沢広祐さん(國學院大学客員教授、「環境・持続社会」研究センター(JACSES) 代表理事)
- 前川貴行さん(動物写真家)
- 松田陽子さん(シンガーソングライター、国連UNHCR協会広報委員)
- 水野雅弘さん(株式会社TREE 代表取締役、SDGs.TV 総合プロデューサー)
- 三石初雄さん(東京学芸大学名誉教授)
- 宮下実さん(とさき動物園名誉園長、元近畿大学教授、大阪市天王寺動物園名誉園長)
- 村田浩一さん(公益社団法人日本動物園水族館協会会長、日本大学生物資源科学部特任教授)
- 森川純さん(酪農学園大学名誉教授)
- 山極壽一さん(総合地球環境学研究所所長、前京都大学総長、京大名誉教授/進化論・生態学・環境生物学・動物学)
- 山崎薫さん(学校法人ヤマザキ学園理事長)
- 渡辺貞夫さん(ミュージシャン)

五十音順

## JTJEFへのサポートのご継続をお願いします!

JTJEFの活動は、皆さまからのご寄附で支えられています。野生動物と私たちの豊かな自然環境を守るために、ぜひ私たちの活動をご支援ください。



### 年間サポーター費・随時寄附のお支払方法

JTJEFのウェブサイトから、クレジットカードで簡単にご寄附いただけます。郵便振替でもご寄附いただけます。

[www.jtjef.jp](http://www.jtjef.jp) または「トラゾウ」 検索

ゆうちょ銀行  
口座番号: 00170-7-355897  
加入者名: トラ・ゾウ保護基金



認定NPO法人 <http://www.jtjef.jp/>  
トラ・ゾウ保護基金

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-5-4 末広ビル3F  
Tel: 03-3595-8088 Fax: 03-3595-8090  
E-mail: hogokikin@jtjef.jp <https://www.jtjef.jp/>  
郵便振替口座: ゆうちょ銀行 口座番号)00170-7-355897  
加入者名) トラ・ゾウ保護基金

保護基金通信 期末特別号  
トラ保護基金 vol.44 / ゾウ保護基金 vol.41  
イリオモテヤマネコ保護基金 vol.30  
2024年10月31日発行  
発行人・編集: 戸川久美